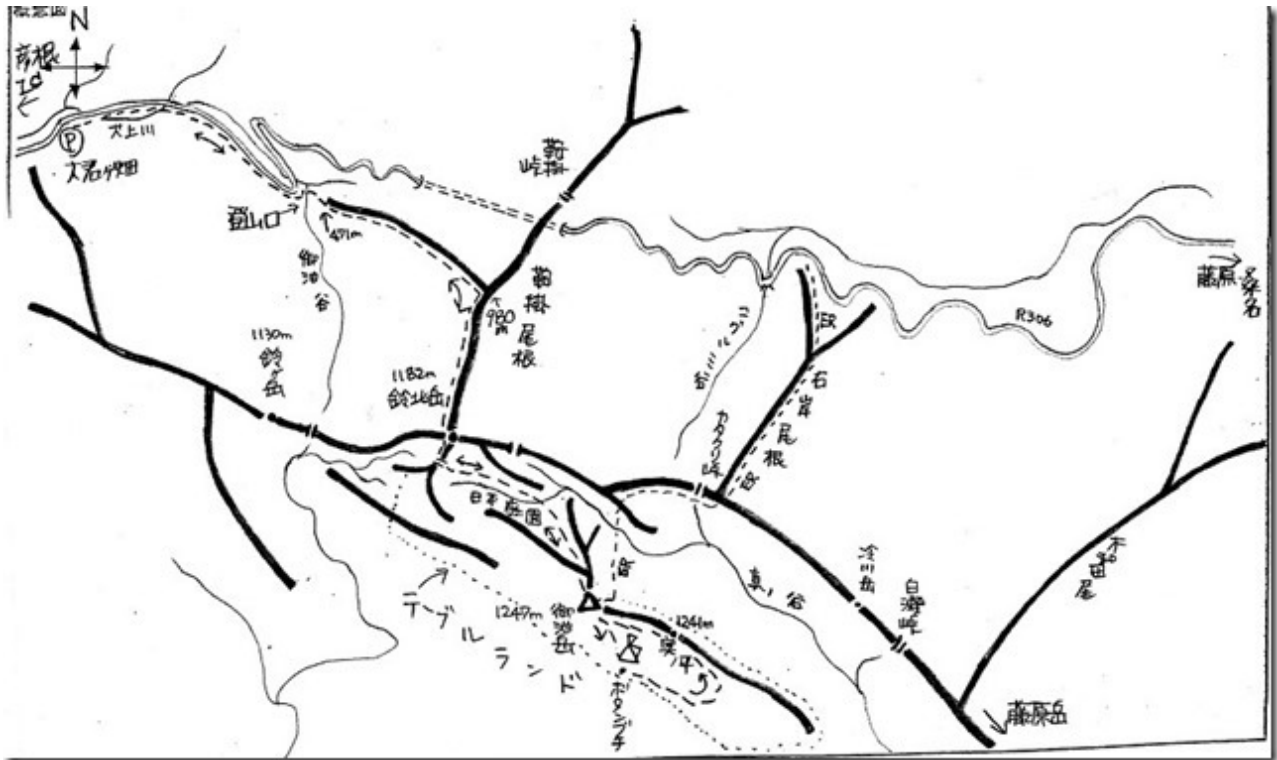


鈴鹿山脈最高峰・御池岳（1247m）

2016年2月21日(日) 曇り

メンバー：磯部S(リーダー)、磯部N(記録)、JO、藤田



鈴鹿山脈の冬は天候が北陸地方とにているので、北部は標高の割にかなりの積雪がある。
・・・はずが、今年のへんてこな冬の天候！

真っ白なテーブルランドの散策を予定するも・・・

2度目の挑戦、一泊で雪原ムーンライトテント泊を楽しむ計画でしたが、またもや天候悪化。
で、日帰りに変更。今回は滋賀県多賀町にある大君ヶ畑（おじがはた）から尾根に取り付く。
ワビィッとは鉄塔の巡視路が登山道に利用されているので、急登とは言え、手が入っている。
それを過ぎると傾斜が増し、足場のない稜線をひたすら登っていく。
雪は山肌に少し着いてはいるものの、登山道は夏道状態。



もう少しで主稜線に合流。わかん、ピッケルが空しい・・

1 時間半ほどで鞍掛峠から続く稜線にぶつかる。
合流点が広くて、下り口が分かりにくいので赤布をつける。



ガスが出たときあわてないように分岐点に布をつける

ここまできれば、鈴北岳まではなだらかな稜線歩きとなる。
冷たい風の中、樹氷もつき始めて楽しみながら歩く。



頂上台地の一角、鈴北岳に近い

鈴北岳の辺りからテーブルランドが始まる。
いつもなら真っ白な雪原が広がるはずだけど、石灰岩や草や灌木がそこそこに見られる程に雪が無い。

庭園の様な山容の中を気持ちよく歩いて御池岳に着く。初めて三重県側からの登山者に会った。



岩の露出した 御池岳頂上で記念撮影



* 2年前の2月、同所での写真。1 m以上積雪量多く、まったく別世界です。

雪が無く、短時間で登頂できたので、しばらくテーブルランドを散策した。
日本庭園と言われる美しいコースだ。ボタボタの断崖やピラミダルな天狗堂の景色を満喫して引き返す。



地面が見える丸い丘、奥ノ平



* 同じく2年前の2月、同所での写真。 絶句・・・



谷の向こうに、三角の天狗堂



樹氷のついた大木・凜として・・・

下りは少ない雪がさらに溶けて、ぐちゅぐちゅ。
最初なだらか、後半転げ落ちそうな急降下を名残惜しく下って駐車地へ戻った。



雪が溶けた下山道

<タイム> 大君ヶ畑 (6:55) - 鞍掛尾根合流 (8:30) - 鈴北岳 (9:30) - 御池岳 (10:50) - テーブルランド周遊 - 御池岳 (12:00) - 鈴北岳 (13:30) - 大君ヶ畑 (14:30)

以上